

公益財団法人栃木県国際交流協会 (TIA)
Tochigi International Association
〒320-0033 宇都宮市本町 9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 FAX 028-621-0951
E-mail tia@tia21.or.jp URL http://tia21.or.jp

やあ! クローズアップ

TIA の国際理解教育の取り組み
ようこそとちぎへ!

平成 29 年度栃木県国際交流員 ソングテン 孫 雅甜 さん(中国)

わくわく☆多文化

栃木県のネパール人コミュニティ

JICA 情報局

海のむこうの暮らしから「ルワンダ」



▲「新・貿易ゲーム」は、各グループが、与えられた袋の中に入っている紙、えんぴつ、はさみ、定規、分度器、コンパスなどのモノを使用して、製品(長方形、正三角形、半円、円)を作り、マーケットで売って金(クリップ)を稼ぐというワークショップ。袋の中身のモノはグループによって異なるので、無いモノを得るために他のグループと交渉する。

国際理解教育実践セミナー「アクティブ・ラーニングを盛り上げる上手なファシリテーション」

国際理解教育の担い手となる人材育成を目的とした「国際理解教育実践セミナー」を、2月25日(土)にとちぎ国際交流センターで JICA 筑波との共催で実施し、教員、一般県民、大学生、高校生など計 30 名が参加しました。

講師はかながわ開発教育センター事務局長の木下理仁氏。今回は、3つのワークショップ～簡単な道具を使って世界の貿易を疑似体験する「新・貿易ゲーム」、目かくしをした状態で渡されたモノを決められたルールに則って組み合わせる「ブラインド・ゲーム」、日本で暮らすベトナム難民の家族が抱えているさまざまな問題を考える「ピンクんに何が起きたのか?」～を参加者が体験し、ファシリテーターとしてどのようにアクティブ・ラーニング(参加型学習)を進めたらよいかを考えながら、学びの場を盛り上げるためのファシリテーションのポイントを学びました。

参加者からは、「学校でやっているアクティブ・ラーニングとは全く違って刺激をうけました」、「職業や年齢の違う人からの意見は新鮮でした」、「木下先生のファシリテーションを実際に見ることができたのが勉強になりました」などの感想が述べられました。



▲ワークショップのポイントを解説する木下氏



国際理解教育とは…

国際理解教育とはいったいどんなことを目的とした教育なのでしょう。か？「グローバル化社会に適応する資質を養うこと」、「貧困、人権、環境など地球的規模の問題を知ること」、「外国の生活・習慣・価値観などの異文化を理解し、同時に日本の文化についても理解を深めること」など、さまざまな目的があります。そして、これらのことを学ぶ過程で、「考える力や、異なる考えを聞く力を身につけ、先入観にとらわれない心を持つこと」も目的のひとつです。

学校では

小中学校では 2002 年度に、高校では 2003 年度に「総合的な学習の時間」が導入され、学習活動例として、国際理解、情報、環境、福祉・健康などが示されました。国際理解教育は、この「総合学習」をきっかけに教育現場で広く実施されるようになりました。

TIA では

TIA は「国際理解」を事業の柱のひとつと位置付け、1999 年度から各種事業を展開しています。

《これまで T I A が実施した国際理解関連事業》

- 1999～2003 先生のための国際理解教育実践セミナー
- 1999～ 国際理解出前講座
- 2001～2009 高校生のための国際理解クラブ
【Club Lycée クラブリゼ】
- 2002～2008 小学生のための国際理解クラブ
【わいわい地球っ子クラブ】
- 2002/2004 国際理解教材ビデオ作成
- 2004～2007 国際理解教育ファシリテーター養成講座
- 2008～ 国際理解教育実践セミナー
- 2009～ とちぎグローバルセミナー



▲マレーシアの伝統衣装を試着する参加者
(昨年度のとちぎグローバルセミナー)

毎年夏に開催している「とちぎグローバルセミナー」は県内で国際理解や国際協力の活動を行う団体が集まり、それぞれ特長を生かしたセミナーを実施するものです。今年も 16 の幅広いセミナーを実施する予定ですので、ぜひご参加ください！詳しくは募集チラシやホームページをご覧ください。

WELCOME TO TOCHIGI ようこそ とちぎへ！



そん がてん
孫 雅甜 さん

平成 29 年度栃木県国際交流員

中国 山東省萊蕪市出身。
今年 4 月から栃木県庁国際課に勤務。趣味は読書、旅行。好きな作家は向田邦子、恒川光太郎など。

一孫さん、初めまして！日本語はどこで勉強しましたか？

山東省の中国海洋大学日本語学科で学びました。「あいうえお」から勉強して、3 年生からは宮沢賢治など日本の文学を読んだり、翻訳の演習も行いました。その後は、北京外国語大学の修士課程で、日本の思想、歴史、文化などを研究するほか、東京大学に半年間留学した経験もあります。

一山東省は港町のイメージですが、どんなところですか？

大学は海の近くでしたが、実は私の実家は、海から 300 キロほど内陸のところ、山に囲まれています。ですから、栃木県は故郷の雰囲気にとっても似ています。農業も盛んで、特に長ネギは辛くてとても美味しいです。また、世界遺産に登録されている泰山など名所もたくさんあります。中国は地域により主食が違いますが、私たちは毎日「麵食」と言って小麦粉で作ったものを食べます。これは、麵状に

伸ばした日本の素麺のようなものや、丸めて蒸したものなどがあり、屋台などでも気軽に買うことができます。

一中国でのお仕事について教えてください。

日本人向けに中国を紹介する雑誌社で 10 年近く働いていました。中国人のジャーナリストが書いた記事を日本語に翻訳したり、日本と中国の交流イベントや日本からの訪問団をインタビュー取材して記事にまとめたり、編集の仕事も担当しました。その後は出版社に転職し、出版物の著作権や翻訳権を買う部門の担当者として、日本の出版社や作家と交渉する仕事をしていました。出版物は文学作品ばかりでなく、ライフスタイルを紹介するものや、実用書、デザイン集など幅広い分野を扱っていました。



一こちらで楽しみにしていることは何ですか？

時間が許す限り、いろいろなところに旅行したいと思っています。また、国際交流員の仕事の一つに、通訳翻訳がありますが、今までのキャリアを生かしてお役に立ちたいと思います。また、子どもたちに中国を紹介する仕事もありますが、今からとてもわくわくしています。

▲益子町で人生初のろくろを体験



平成 28 年度第 2 回

日本語ボランティア情報交換会

2月24日(金)とちぎ国際交流センター



▲参加者の質問に答える講師の嶋田氏

外国人住民に日本語を教えるボランティアを対象とした情報交換会を「対話で学ぶ『たのしい日本語学習』～レベル差なんて こわくない～」と題して行い、県内各地から39名が参加しました。講師は前回に引き続き、一般社団法人アクラス日本語教育研究所代表の嶋田和子氏をお迎えしました。

講演では、学習者のレベルに応じて、単語の難易度を変えた課題や質問をするワークが紹介されたほか、漢字の導入においては、①書ける漢字、②読める漢字、③見て意味がわかる漢字、と段階にわけると覚えるプレッシャーが減り、効率もよいこと、また、対話を通した日本語学習は、学習者とボランティアが共に学び合え、いろいろな答えが出るので、レベル差の対応につながるのお話もありました。グループワークでは課題について積極的に話し合うなど、真剣ながらも賑やかで楽しい情報交換会となりました。

栃木県内市町国際交流協会 防災訓練 「翻訳シミュレーション」

3月15日(水)～3月27日(金)



TIAと県内の市町国際交流協会のメーリングリストを活用し、災害時の情報共有や翻訳支援が円滑に行えるようシミュレーションを行い、各協会の協力者等の46名が参加しました。

今回は、台風による大雨で洪水が発生し足利市が被災したと想定し、災害の基本情報や避難所の開設、休校のお知らせや交通情報などを各協会の職員や協力者が分担し、英語、スペイン語、中国語など10カ国語とやさしい日本語に翻訳しました。参加者からは、「避難準備」、「避難勧告」など避難に関する言葉は、緊急性が伝わるようよく考えて翻訳をしたなどの感想がありました。

介護の仕事のための日本語教室 「にほん語でかいご」

5月12日(金)～とちぎ国際交流センター



▲講師の地球人ネット理事長・長谷川氏(中央)から介護の日本語を学ぶ参加者

介護従事者の不足が叫ばれている中、県内介護施設で働く外国人はまだ少ない状況です。これは、介護の仕事で使用される用語が外国人にとって難しいことが、外国人の介護職への進出を阻む要因のひとつと考えられます。

TIAはNPO法人地球人ネットと共催し、県内の外国人住民の介護分野への就職支援、及び介護職への定着化を図るため、介護の仕事に役に立つ日本語を学ぶ教室「にほん語でかいご」を5月から開始しました。第1回目(5月12日)には、タイ、ペルー、ベトナム、中国、カナダ、ブラジル国籍の計11名が参加し、「介護とは、介護現場・介護職員の様子」について学びました。

この日本語教室は、毎月第2・4金曜10:00～11:30にとちぎ国際交流センターで実施しています。いつからでも受講できますので、お知り合いの外国人の方で興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。



TIA ランチタイム コンサート

3月14日(火)・29日(水)
とちぎ国際交流センター

日頃とちぎ国際交流センターをご利用されている方などを対象に、お昼休みの時間帯(12:15～13:00)に生演奏を聴いてリラックスしていただく「TIA ランチタイム・コンサート」を初めて開催しました。

演奏は、フルート、バイオリン、ビオラ、チェロの4名(TIA職員3名と有志1名)で構成する「とってもいいアミーゴス・カルテット」、略して「TIAカルテット」。センター1階の交流ラウンジを会場に、クラシック、J-POP、アニメ、ビートルズなど計8曲を披露しました。

会場には各回30名～40名が訪れ、お馴染みの名曲を聴いて楽しんでいただきました。



この10年ほどの間に、ネパール人がたくさん来日するようになり、栃木県においても急激に増えています。ネパールは県内で暮らす外国人のなかで、7番目に多い国です（H28.12月現在）。皆さんも街中でネパール人を見かけるようになったのではないのでしょうか。

このような中、ネパール人留学生が中心となり、「新年のお祝い・文化プログラム」が3月29日（水）に栃木県総合文化センター・小ホールで行われました。このイベントの司会を務めたクマリ・タマンさん（現在、宇都宮大学大学院1年）にお話を伺いました。

■ネパール暦新年のお祭り

ネパール暦で今年は2074年です。今年は4月14日が元日にあたり、それに近い日に集まってお祝いすることにしました。ネパール人が地域にいても、なかなか知り合う機会はないものです。そこで、主に男子留学生が何度も



▲ステージでのネパールダンス

集まって、開催のための寄附金集めやイベントの企画などを行いました。また、フェイスブックも立ち上げ、皆が期待するプログラムを聞いたり、スタッフの募集や広報を行いました。

イベント当日には150人以上が集まりました。歌、踊りの披露のほか、ネパール人の心理士による講演もありました。ネパール人のなかには借金をして来日する人も多く、日本の生活がうまくいかないと悩みが深刻になってしまうケースもあります。講演では、どんなに辛くても周囲に相談して、焦らず少しずつ解決していけばいいとアドバイスがありました。



▲お話ししてくれたクマリさん

■栃木県で暮らすネパール人

ネパールでは数年前から、留学がブームになっています。栃木県には大学、専門学校、日本語学校に通う留学生が多いです。また、ネパール料理のレストランや食材店を営み、長年暮らしているネパール人もいます。ネパール人は



▲ネパール食材店の様子。宅配も行いうお店が多く、食べ物に困らない

結束力がとても強く、特に困難な時に力を発揮します。また、民族によって顔の特徴が違います。この人はネパール人かなと思ったら気軽に「ナマステ」（こんにちは）と声をかけてください。

JICA 情報局

海のむこうの暮らしから
〜ルワンダ 障害児・者支援隊員より〜
三浦真希さん（那須塩原市出身）

【活動内容】ルワンダの北部にある聾学校で耳の聴こえない子どもたちに音楽、アート、英語等を教えています。生徒の年齢は6歳から20歳と幅広いです。遠い村に住んでいて毎日学校に通うことが難しい子もいるので、全員学校の寮に住んでいます。寮生活は、農作業、洗濯、掃除等自分たちでしなければなりません。子どもと先生と、皆で力を合わせて生活しています。



【栃木県の皆さんへメッセージ】

ルワンダといえば、映画「ホテルルワンダ」などが有名で、「大虐殺」のイメージが強いかと思います。しかし、現在ルワンダは著しく発展し、たった22年前にその様な悲しい出来事が起こっていたとは思えないくらい美しく穏やかな国です。聾学校の子どもたちも毎日元気に勉強に励んでいます。機会があれば、ぜひ一度訪れてみてください。



JICA 栃木デスクからのお知らせ

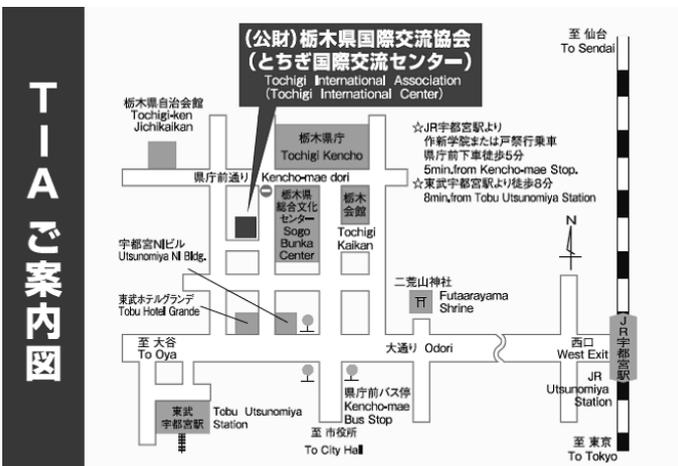
栃木を所管するJICA 筑波センターでは、学校や市民団体を対象とした施設訪問を受け入れています。

詳しくは JICA 筑波 HP ^ <https://www.jica.go.jp/tsukuba/>
お問い合わせはお気軽に、JICA 栃木デスクまで！

T I A 人事異動のお知らせ

平成29年4月1日付で、理事長に小林延年、事務局次長兼業務課長に矢島 淳、スペイン語相談員に望月ケニアがそれぞれ着任しました。

とちぎ国際交流センター
開館時間 火曜日～土曜日
9:00～17:00
(日、月、祝日、年末年始は休み)



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 千320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日